



2025年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年7月12日

上場会社名 株式会社BeeX

上場取引所 東

コード番号 4270 URL <https://www.beex-inc.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 広木 太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部長 (氏名) 杉山 裕二 TEL 03-6260-6240

四半期報告書提出予定日 2024年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の業績(2024年3月1日～2024年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	2,251	34.2	208	36.9	208	36.8	142	36.0
2024年2月期第1四半期	1,677	34.1	152	63.7	152	68.3	104	68.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	64.14	57.04
2024年2月期第1四半期	47.15	41.72

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	4,376	2,232	51.0
2024年2月期	4,281	2,089	48.8

(参考)自己資本 2025年2月期第1四半期 2,232百万円 2024年2月期 2,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		0.00	0.00
2025年2月期					
2025年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,470	23.0	650	8.5	648	5.3	468	6.2	210.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期1Q	2,224,600 株	2024年2月期	2,224,600 株
期末自己株式数	2025年2月期1Q	3,000 株	2024年2月期	3,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期1Q	2,221,600 株	2024年2月期1Q	2,221,600 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記の予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第1四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものです。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（2024年3月1日～2024年5月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束による社会経済活動の正常化が進んだことから、企業収益の改善や個人消費の持ち直しの動きもみられ、訪日外国人観光客数の増加によるインバウンド需要の拡大などを背景にした人流増加により、景気の緩やかな回復が続いております。しかし、中東情勢の緊迫化等の地政学リスクの高まりや海外経済の減速懸念のほか、為替変動による物価上昇、円安の継続や世界的な金融の引き締めなど、国内の景気を下押しするリスクもあることから、依然として先行きが不透明な状況となっております。

情報サービス産業においては、ソフトウェア投資は増加傾向にあり、企業収益の改善や人手不足等を背景に、今後もITへの投資は堅調に推移することが期待されております。また、クラウド型サービスへの移行ニーズを背景に、様々な情報サービスに対する期待が益々高まっており、事業の強化や変革を推進するDX(デジタルトランスフォーメーション)関連の需要は増加しております。

このような状況下、当社では「デジタルトランスフォーメーション」及び「マルチクラウド」という2つの領域を軸にクラウドソリューション事業を展開しており、SAP社が提供する基幹システムを中心に、顧客企業毎に使用している基幹システムに最適なパブリッククラウドの選定、基幹システムをパブリッククラウド上で最適な状態で利用するためのコンサルティング、クラウド環境の設計・構築、クラウド環境への移行、及びクラウド環境での運用業務の提供を行ってまいりました。また、クラウドソリューション事業においては、テレワーク環境下での働き方が推進されている状況が追い風となっており、クラウドに関する顧客企業からの引合いは増加基調にあります。

以上の結果、当第1四半期累計期間における経営成績は、売上高2,251,278千円(前年同四半期比34.2%増)、営業利益208,833千円(前年同四半期比36.9%増)、経常利益208,453千円(前年同四半期比36.8%増)、四半期純利益142,497千円(前年同四半期比36.0%増)となりました。

なお、当社の事業はクラウドソリューション事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしておりません。

(売上高)

当第1四半期累計期間におけるクラウドインテグレーションにおいては、前期に獲得した大型案件の後続フェーズに係る売上が寄与し、加えて、既存顧客からの追加案件の受注及び新規顧客からの案件獲得もあり、クラウドインテグレーション売上高は785,561千円(前年同四半期比64.8%増)となりました。

MSPにおいては、新規顧客の獲得もあって取引社数が堅調に推移し、MSP売上高は212,886千円(前年同四半期比19.1%増)となりました。

クラウドライセンスリセールにおいては、新規契約数が順調に増加したことに加えて円安基調も追い風となり、クラウドライセンスリセール売上高は1,252,831千円(前年同四半期比22.6%増)となりました。

(売上原価)

当第1四半期累計期間における売上原価は、1,786,833千円(前年同四半期比34.9%増)となりました。

主な内容としては、クラウドインテグレーションにおけるプロジェクトの大型化に伴い、社内リソースでカバーできない工数を外部の開発リソースで補完したことにより業務委託費が増加し、クラウドライセンスリセール売上増加に伴うAWS及びAzure等のライセンスの仕入高が増加しました。また、エンジニアの人員増加により労務費が増加しました。

(販売費及び一般管理費)

当第1四半期累計期間における販売費及び一般管理費は、255,611千円(前年同四半期比27.7%増)となりました。

主な内容としては、人的資本への投資を進めた結果、営業部門や管理部門の増員に伴う人件費及び、中途採用の活動に係る費用が増加しました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における資産合計は、4,376,459千円となり、前事業年度末から94,705千円の増加となりました。

当第1四半期会計期間末における流動資産は、4,078,874千円となり、前事業年度末から92,146千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が188,386千円減少した一方で、クラウドインテグレーション売上高の増加により契約資産が221,510千円、AWSのリザーブドインスタンス（契約期間1年間、3年間）及びSavings Plans（契約期間1年間）の購入に伴い前払費用が45,619千円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期会計期間末における固定資産は、297,585千円となり、前事業年度末から2,558千円の増加となりました。これは主に、自社開発のクラウド運用サービスツール「BSC：BeeX Service Console」（ソフトウェア）等の追加機能開発により無形固定資産が2,683千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債合計は、2,144,089千円となり、前事業年度末から47,791千円の減少となりました。

当第1四半期会計期間末における流動負債は、2,144,089千円となり、前事業年度末から47,791千円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が45,610千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産は、2,232,369千円となり、前事業年度末から142,497千円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が142,497千円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、当第1四半期累計期間の業績が概ね想定どおり推移しているため、2024年4月12日に発表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,870,032	1,681,645
売掛金	1,098,508	1,143,043
契約資産	281,641	503,152
前払費用	704,038	749,657
その他	32,505	1,375
流動資産合計	3,986,727	4,078,874
固定資産		
有形固定資産	52,281	52,406
無形固定資産	115,119	117,802
投資その他の資産	127,625	127,375
固定資産合計	295,026	297,585
資産合計	4,281,754	4,376,459
負債の部		
流動負債		
買掛金	927,746	963,648
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	118,057	72,447
契約負債	651,868	719,624
賞与引当金	-	20,279
受注損失引当金	211	486
その他	293,996	167,603
流動負債合計	2,191,881	2,144,089
負債合計	2,191,881	2,144,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	321,089	321,089
資本剰余金	386,213	386,213
利益剰余金	1,385,208	1,527,705
自己株式	△2,638	△2,638
株主資本合計	2,089,872	2,232,369
純資産合計	2,089,872	2,232,369
負債純資産合計	4,281,754	4,376,459

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2024年3月1日 至2024年5月31日)
売上高	1,677,080	2,251,278
売上原価	1,324,436	1,786,833
売上総利益	352,644	464,444
販売費及び一般管理費	200,124	255,611
営業利益	152,519	208,833
営業外収益		
雑収入	15	-
営業外収益合計	15	-
営業外費用		
支払利息	160	204
為替差損	50	174
営業外費用合計	210	379
経常利益	152,324	208,453
税引前四半期純利益	152,324	208,453
法人税等	47,567	65,956
四半期純利益	104,756	142,497

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間（自2023年3月1日 至2023年5月31日）

当社は、クラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期累計期間（自2024年3月1日 至2024年5月31日）

当社は、クラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。